

龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例第19条及び同条例施行規則第11条の規定による「財政運営影響額」の公表資料

1. 事業概要

予算措置：龍ヶ崎市一般会計予算

【件名】佐貫3号線整備事業

金額：1,202,138千円

期間：平成27年度～平成37年度

2. 財政運営影響額

(1) 投資的経費

本事業における初期投資的費用は以下のとおりである。

年度	項目	金額（千円）	備考
27年度	委託料	1,718	
28年度	委託料	19,678	
29年度	委託料	9,342	
30年度	委託料	30,600	
31年度	委託料	46,000	
32年度	委託料・公有財産購入費・補償,補填及び賠償金	153,800	
33年度	委託料・工事請負費・公有財産購入費・補償,補填及び賠償金	133,000	
34年度	委託料・工事請負費・公有財産購入費・補償,補填及び賠償金	282,000	
35年度	工事請負費	190,000	
36年度	工事請負費	196,000	
37年度	工事請負費	140,000	
合計		1,202,138	

※事業期間を2年間延伸。

(2) 経常的経費

当該施設における経常的経費は、「維持管理にかかる経常コスト」として10年目は2,857千円,20年目は3,156千円,30年目は3,485千円,30年間トータルでは73,626千円と試算した。

「償還金等」としては,10年目は34,153千円,20年目は32,762千円,27年目の2,969千円で償還が終了し,30年間トータルでは575,243千円と試算した。

「年別合計」の試算結果は,10年目は37,010千円,20年目は35,918千円,30年目は3,485千円,向こう30年間のトータルでは648,869千円である。

(3) 更新費用

「大規模改修・更新にかかるコスト」については,経年等による老朽化対応により,17年目に1,500千円,27年目に43,500千円,30年間トータルで45,000千円と試算した。

3. 事業の目的及び社会的便益等

JR佐貫駅と一般県道八代庄兵衛新田線(若柴地区)を結ぶ都市計画道路の内,未整備となっている区間を整備することで,地域の活性化や利便性の向上を図るものである。

当市は今後,多くの自治体同様に人口減少,少子高齢化に直面していく中で,交流人口・定住人口の維持増加につながる魅力ある都市づくりを推進していくことが喫緊の課題となっている。その中で,佐貫・若柴町地区には本市の玄関口にふさわしいにぎわいを創出し,それを本市全域に波及させる役割が求められており,交通の結節点となる佐貫駅と若柴地区及び牛久市方面を結ぶ連絡道路として本路線を整備することで,移動時間が短縮し地域間交流並びに地域振興の活性化が見込まれる。